



2024年1月19日

MUFG ART BRUT POSTER EXHIBITION

東海地区を中心とした16名の作家のポスター展

当社は、株式会社三菱UFJ銀行(本店：東京都千代田区丸の内二丁目7番1号 代表取締役社長：半沢 淳一) が主催するアールブリュットポスター展の告知物のデザイン、印刷、展示設営においてサポートさせていただきました。

株式会社三菱UFJ銀行様の想い
世界が進むチカラになる。

展示するポスターはアール・ブリュットアーティストの方々が描いたアート作品です。
ジェンダー、障がい、国籍、人権、年齢、性的指向など多様な属性や価値観を持つ全ての人々が、前に進むチカラななること、そのために全力を尽くすこと。
これらが未来に向けて変わらないMUFGの存在意義です。



【開催概要】

開催日：2024.1.22~1.31

入場料：無料

会場：三菱UFJ銀行名古屋ビル1階

住所：名古屋市中区錦3-21-24

主催：株式会社三菱UFJ銀行

当社は今後も障がいのある方の芸術・文化活動支援を通じて、社会交流の広がりを目指すとともに、ダイバーシティ & インクルージョン実現に向けた活動を推進してまいります。

■本件に関するお問い合わせ

社名：竹田印刷株式会社
住所：〒466-8512 名古屋市昭和区白金一丁目11番10号
部署：営業1部 長谷川
TEL：080-7239-2067（受付時間：9:00～17:45）
E-mail：hasegawa_kana@takeda-prn.co.jp

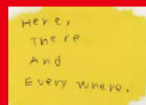
MUFG ART BRUT POSTER EXHIBITION

世界が進むチカラになる。

本展示で展示するポスターはオール・ブリュットアーティストの方々が描いたアート作品です。ジェンダー、障がい、国籍、人種、年齢、性的指向など多様な属性や価値観を持つ全て人々が、前に進むチカラになること、そのために全力を尽くすこと。これが未来に向けて変わらないMUFGの存在意義です。

※オール・ブリュット(加工されていない生(き)の芸術) 伝統や流行・教育などに左右されず、自身の内側からわきあがる衝動のままに表現した芸術を示す。障がいのある人・子ども・正規の美術教育を受けていない人々の作品を指すため1947年ごろから用いられている。

EIGO IYAMA 伊山英吾



手先が器用で小さな頃から工作や絵を描くことに集中し、独り言を言いながら常に何かを創作していました。読み書きを習得してからは絵の中に文字が入ることが多くなり、文字だけの作品にしてみたり、余裕があれば色を使ってみたりと、試行錯誤しながら世界観を構築しようとしています。

HIROSHI KAMIMURA 上村空



2002年石川県生まれ。小さい頃から好きな物を油粘土で表現し、特に高速道路に強いこだわりがあり卓上で再現していました。成長と共にいつか街並みへと形を変えていき製作開始は必ずこれから始まります。油粘土が緑なのは彼が好きな色だからです。

KAZUSHI KOJIMA [SUNFRIEND] 小島一志



2018年から株式会社スシムエンジニアリング広報担当として、在宅にて絵画を制作。さかなをモチーフとした作品が多く、休憩時間には大好きな魚回廊を見ている。画法は、色鉛筆を使って画用紙に穴が開くほど強烈な筆圧で描き上げていきます。

KENJI HIOKI [YONAWORLD] 日置健二



描く描かない、時間内に描くことができるかできないかを自分で判断し、描くと決めたら描くものを見つめ、よし!と決めたら一気に描き始めます。実直な線画で力強く、迷いなく描き上げる姿は作品からも感じることができ、彼の集中力の高さを感じることができます。

KYOUKO KATAOKA [YONAWORLD] 片岡京子



ぬりえが好きだけれども、ぬりえ本を買うのを躊躇っていた片岡さん。だったら自分でぬりえを作ればいい!とはじまったのがこの「カラフルブロック」。枠を描いて、好きな色を好きなように塗っていく姿は好きが詰まった素敵な空間となり、作品となりました。

NOBORU ANDO [TOUKASOU] 安藤昇



1957年生まれ。岡崎市にある藤花荘に入所し、所属する作業場で創作活動を行っています。新聞の折り込みチラシを使ったちぎり絵は、指で5mm四方にちぎって糊で丁寧に貼り付けていきます。ちぎり絵だけでなく、ライオンやサイ、鹿といった動物を陶器で作り、どれも愛らしい表情や形態が特徴的な作品も制作します。

TAKAYA ADACHI 足立貴哉



恐竜や特撮怪獣をモチーフに絵を描いています。水性マーカーでラインを引くように細かく色を塗り分ける特徴が見られます。恐竜や怪獣の名前のような、特定の固有名称を覚えることを好み、付随する身長や体長などの数字に関わる情報と合わせて記憶しています。

YASUTAKA OHNO [YUME NET] 大野靖貴



1つの作品でも物語として成立する情報量と、見ごたえある細部へのこだわり。そしてこれまでの作品を並べてみれば、更に壮実感が増すのが大野さんの持ち味。まるで物語のページを括るように見ごたえある彼の作品は「観る」というより「読む」という表現がふさわしいと言えます。

FUMIKO SATO [SUNFRIEND] 佐藤二三子



1975年生まれ。作品の多くが鳥や植物のモチーフで、画風はなめらかな線とカラフルな色使いが特徴です。作品は、明るくポップな色使いを好まれ、カラーペンを机に並べ、迷いなくどんどんペンを走らせ、あっという間に、しかも細かく丁寧に塗り込み完成させます。

KAZUAKI MASUYAMA [SUNFRIEND] 升山和明



カラフルなコラージュ作品で注目を集めています。作品に繰り返し登場しているのは、大山市にかつてあったデパート「清水屋」が主なモチーフ。作品の多くがこのデパートとタクシー、そして自身の名前がめしられています。「清水屋」は幼少期より今日までずっと気になる存在であり、長年モチーフとして描き続けています。

KENTA NAKASHIMA [YONAWORLD] 中島健太



ものづくりが好きな彼の頭の中は作りたものでいっぱい。それをどうやって作っていくのかを相談しながら製作をしています。あとは勝負が大好き。勝ち負けではなく同じテーマでスタッフやメンバーと切磋琢磨して描き上げていくことを楽しんでいます。

KURUMI ABE あべくるみ



紙だけでなくテーブルや壁、布団、自分の手にも広がるペン画の世界は、独学で大好きな虫や妖精、顔がモチーフです。突如16歳の時、自ら24時間目をつむり1年と21日間生活。描く事も目をつむったまま毎日当たり前に続けたくるみさん。絵は彼女の最大の感情表現です。

NAOTO IGUCHI [SFRN] 井口直人



1971年生まれ。さふらん生活圏所属。街のコンビニと施設のコピー機を使って、自分の顔とその時々々の気に入ったものを写し取ることを日課としています。ガラス面に顔を押し付け自分でボタン操作し、センサー光の動きと共に身体を動かすことで、画面に独特の歪みを作り出します。

SEIYA OKUNO [ATELIER BRUTO] 奥野誠也



1998年生まれ。細部にまで描き上げられる人物、風景、動物、そして童話の世界。いびつな形になった絵は、可愛らしさだけでなく、時として荘厳ささえ感じさせます。1日中絵を描き続けている彼は、愛らしいキャラクターとも相まって、ファンは後を絶ちません。

YASUJI TAKAYANAGI [SUNFRIEND] 高柳泰次



1975年生まれ。カラフルで可愛らしい作品が特徴です。鳥やお花をアレンジし、連続して描きます。絵画だけではなく、刺繍など、とても細かい作品を数多く制作しています。いつも楽しそうに制作に取り組んでいます。

YOSHIHIRO INAGAKI [SUNFRIEND] 稲垣嘉浩



1967年生まれ。画用紙にカラーペンで、独特の描写で根気よく作品を丁寧に細かく描いていきます。とても几帳面で、丁寧な作業は作品に表現されています。作業中もスタッフとの会話が楽しみで、よくお話しします。